



Shin-Kobe 糖尿病だより

10月号 (Vol.3)

**糖尿病の合併症、知っていますか？
知らない間に合併症が進んでいる場合があります！**

糖尿病の3大合併症として、
網膜症、腎症(糖尿病による腎臓病)、神経障害が知られていますが、
適切な検査を受けないと、合併症の進行に気づくことはできません。

よく見えているから、網膜症は大丈夫?!

全く症状がないまま、網膜症がじわじわと進むことは珍しくありません。ある日突然、目の奥(眼底)に大きな出血が起きて、目の症状が出現した時には、すでにかなり悪い状態になっていることがあります。網膜症があるかどうかは眼底検査を受けないとわかりませんので、糖尿病の方は、必ず眼科で検査を受けましょう。

血液検査を受けていたら、腎症(糖尿病による腎臓病)は見つけられる?

残念ながら、尿検査により僅かなアルブミンの排泄量を細かく調べないと、糖尿病腎症を見つけることはできません。血液検査でわかるのは、かなりステージが進行した腎症のみです。糖尿病の方は、定期的な(糖尿病腎症を見つける為の)尿検査を受けることをお勧めします。

足のしびれや痛みがないから、神経障害は大丈夫?

糖尿病による神経障害でしびれがある方もいらっしゃいますが、自覚症状がないまま神経障害が進んでいる方も多く見受けられます。症状がなくても、足の裏の感覚が知らないうちに鈍くなっていて、靴擦れやちょっとした足のトラブルから、潰瘍や壊疽を起こす場合があります。また、神経障害があると低血糖の時に症状が出なかったり、心筋梗塞や狭心症の発作時に胸の痛みが出ないことがあります。本当に恐ろしいことですね。神経障害も、苦痛のない検査で詳しく調べることができますので、あなたの体を守るために、ぜひ受けられることをお勧めします。

その他にも、糖尿病がある方では、心筋梗塞や脳梗塞、一部の癌や認知症が起こりやすくなる事がわかってきています。当院では、患者さんが元気で過ごせるように、糖尿病の専門治療だけでなく、糖尿病合併症や、糖尿病により起こりやすくなる病気のチェックを積極的に行っています。

**糖尿病・内分泌・漢方内科
新神戸おかだクリニック
院長：岡田 裕子**

電話：078-241-1350